

校長室より

令和6年7月1日(月)

「朝の生徒玄関前」



1学期が始まって、3ヶ月がたちました。子どもたちは朝から元気いっぱい登校しています。

私は今年も登校してくる子どもたちを生徒玄関前で迎えています。そこで、この3ヶ月で気づいたことや心に残ったこととお話します。

- ①決まった時間に登校してくる生徒が大変多いです。おそらく、5分もズレはないと思います。これは、前日の夜に決まった時間に寝て、決まった時間に起床し、決まった時間に家を出るのですね。まさに、ルーティンです。
- ②あいさつがとても明るく元気です。今年の生徒は、かなり遠いところから「おはようございます!」の声が届きます。いつまでもこの気持ちを忘れないください。
- ③気軽に話しかけてくれる生徒が多いです。「先生、リュックの中の水筒からお茶が漏れて、大変なことになっています。」「先生、自転車の鍵をかけ忘れたので戻ります。」「先生、私のおねえちゃんを知っていますか。」たわいもない会話ですが、これがうれしいんですね。
- ④雨の日でも自転車で登校する生徒が多いです。自立心の表れでしょうか。でも、くれぐれも交通安全に気をつけて。
- ⑤ある日、自転車小屋近くで女子生徒がバランスを崩し、自転車ごと倒れてしまいました。そのとき、近くにいた男子生徒がサッと駆け寄り、自転車を起こしてくれたのです。私たち大人もなかなかできない行動にとっても感動しました。いつまでも、その優しさを忘れないください。

明日はどんなことが待っているのか、とても楽しみです。